

# 家畜衛生だより

## 韓国でランピースキン病が発生！！

8月12日、韓国の京畿道安城市の韓牛農場で、ランピースキン病が確認されました。韓国では、昨秋に相次いで107件発生しており、その他のアジアの近隣諸国でも散発しています。日本での本病の発生は未確認ですが、下記の点に注意して、農場の衛生対策の徹底をお願いします。

### ランピースキン病(届出伝染病)とは

原因:ポックスウイルス

対象動物:牛・水牛

感染経路:主にベクター(蚊、サシバエ、ヌカカ、マダニ等)による機械的伝播

本病ウイルスに汚染された飲用水や飼料でも感染拡大に影響

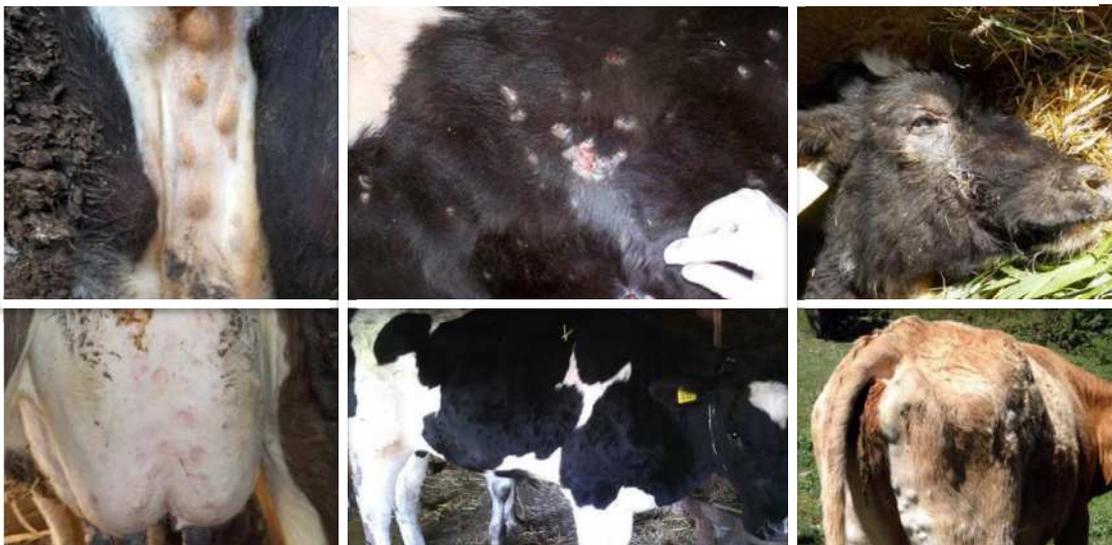
症状:皮膚の多数の結節や水腫、発熱、泌乳量の低下等多様、死亡率 1~5%

### 対策

発症牛の早期発見、隔離、移動の自粛又はとう汰、ワクチン接種等の総合的な防疫対策が重要です。 ※人には感染しません。ワクチンは国が備蓄しています。

✓ 飼養器具等の清掃、消毒(一般的な多くの消毒剤に感受性あり)

✓ 殺虫剤等によるベクター対策



農林水産省 HP より

普段と違う症状などがありましたら、  
家畜保健衛生所までご連絡ください。



# 肉牛農家のみなさまへのお願い

EUにおける規則の変更に伴い、  
出生からと畜されるまでの間、『ホスホマイシン』という抗菌剤が投与された牛は、  
EU向けに輸出ができなくなります。このため家畜市場や肥育農家から

① 『ホスホマイシン』を使用していないことの確認

② 申告書(別添)の提出

を求められる場合がありますので、ご協力をお願いいたします。



## ホスホマイシン不使用申告の対応の流れ

### 対応1 家畜市場から求められるケース

家畜市場に子牛を出荷する際、  
家畜市場からの求めがあった場合、  
『ホスホマイシン』が使用された履  
歴がないことを確認の上、申告書  
(別添)を提出。



### 対応2 肥育農家から求められるケース

相対取引や家畜市場における牛の  
販売後、肥育農家からの求めが  
あった場合、『ホスホマイシン』が  
使用された履歴がないことを確認  
の上、申告書(別添)を提出。



## ホスホマイシンとは？

主に子牛の下痢症や肺炎の治療に用いられる抗菌剤であり、使用に当たっては獣医師の処方箋又は指示が必要です。なお、本剤については代替薬が存在します。

①診療獣医師への使用履歴の確認、②自農場に保管している処方箋・指示書等の確認により、ホスホマイシンが使用されていないことを確認の上、申告書(別添)の提出のご協力をお願いします。

(様式例)

氏名・名称： \_\_\_\_\_

住所： \_\_\_\_\_

電話番号： \_\_\_\_\_

### ホスホマイシンの使用に係る申告書

下記に示す当農場が出荷した牛は、出生（転入している場合は転入日）から転出までの期間、ホスホマイシンを使用していないことを申告します。

#### 記

1. 個体識別番号：

					-					-	
--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	---	--

2. 生年月日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

3. 転入有無： \_\_\_\_\_ 無し \_\_\_\_\_ 有り (転入日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

※該当する方に○（転入「有り」の場合は転入日を記入）

4. 転出日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

以上

# ホスホマイシンに代わるワクチンや抗菌剤の一覧

ホスホマイシンに適応のあるそれぞれの疾病に効果があるワクチン及び抗菌剤（令和6年3月1日現在）を以下に示しますので、参考にしてください。

## 1. ワクチン

	パステレラ性肺炎	大腸菌性下痢症	サルモネラ症
牛	1 製剤 （“京都微研”キャトルバクト3）	3 製剤 （“京都微研”牛下痢5種混合不活化ワクチン、同II、牛用大腸菌ワクチン〔imocolibov®〕）	2 製剤 （牛サルモネラ2価ワクチン、ポビリスS）

## 2. 代替抗菌剤

### ① パステレラ性肺炎：19成分

アモキシシリン	アンピシリン	ベンジルペニシリンプロカイン
セファゾリン	セフキノム	セフチオフル
カナマイシン	ガミスロマイシン	チルミコシン
ツラスロマイシン	オキシテトラサイクリン	クロルテトラサイクリン
エンロフロキサシン	オルビフロキサシン	マルボフロキサシン
ダノフロキサシン	フロルフェニコール	チアンフェニコール
スルファモノメトキシリン/オルメトプリム		

### ② 大腸菌性下痢症：13成分

アモキシシリン	アンピシリン	セファゾリン
オキシテトラサイクリン	クロルテトラサイクリン	オルビフロキサシン
エンロフロキサシン	オキシリン酸	ゲンタマイシン
カナマイシン	ストレプトマイシン	ビコザマイシン
コリスチン		

### ③ サルモネラ症：10成分

アンピシリン	セファゾリン	オキシテトラサイクリン
クロルテトラサイクリン	オキシリン酸	ゲンタマイシン
カナマイシン	ストレプトマイシン	ビコザマイシン
コリスチン		

※具体的な製剤については、動物用医薬品等データベース（<https://www.vm.nval.go.jp/>）をご参照ください。



（動物用医薬品等データベースQRコード）